



子どもの健やかな成長を願い
その笑顔が輝く村を目指して

第9回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味
あいらくふるさとみ



子ども達の笑顔には人の心を明るくする無限の力があります。それは親世代のみならず、高齢の皆さまの活力にも繋がっていく大切な要素です。世代間の隔てなく、村のうちそとの隔てなく、お一人おひとりにとってワクワクする楽しい村を実現していくために、一層の力を入れて参ります。

三寒四温を繰り返しながら、飯館村にも春が訪れております。先日、いいたて希望の里学園の卒業式、までの里のこども園の卒園式、そして日頃より村と連携して活動して頂いている福島大学食農学類の第一期生の卒業式に出席致しました。学園の卒業式は、在校生の送辞を受けての卒業生の想いの込められた答辞、二学年から八学年までの在校生全員と先生方による「明日へつなぐもの」「旅立ちの日に」の輪唱と、飯館村の学園らしい、お一人おひとりに寄り添ったセレモニーに深く感動致しました。また卒業生の皆さんは「いいたて学」の貫として、村産「里山のつぶ」や学園産「こんぼろ」も用いて作った凍み餅用のラベル「凍み地味」や、しみたんキャラクターを福島大学と連携して作っていただきました。ユーモア溢れる創意に思わず笑みがこぼれます。

こども園の卒園式でも、飯館村の希望であり宝である子ども達の健やかなお姿を拝見して、心躍るひと時を過ごさせていただきました。保護者の皆さまの日頃よりの愛情溢れるお育みに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

そして、村では四月二日より「出産祝い金制度」を創設いたします。新たに生まれたお子様一人につき二十万円を支給するものです。また令和五年度入学生からを対象として、小学校、中学校への入学時に十万円、高等学校への入学時に二十万円を支給する「子育て応援支援金」も新設いたします。村の希望であり宝である新しい命の誕生を祝し、その羽ばたきをふるさとが応援していく、村民が昔から培ってきた心を、村の将来への布石として新たに制度化致しました。

ふるさと資源

発掘図鑑!

村からの寄附が建設費用の一部に使われた集会所は「ドンニヤイ・アンド・イイタテ・コミュニティホール」の頭文字を取って「DAIC(ダイク)」の愛称で呼ばれているそうです。



AEFAの職員さんがコロナ禍前の約束を果たし、飯館村の四季の写真を集会所に届けました。室内に飾られることになっています。

#ラオスのドンニヤイ村で

ラオスに校舎を贈ろうと動いた子ども達の取り組み、東京オリンピック・パラリンピックに向けた合宿の受け入れなど、飯館村とラオスには、心の通った交流の軌跡があります。協力をいただいているNPO法人アジア教育友好協会(AEFA/アエファ)から、ラオス・ドンニヤイ村の近況が届きました。



旧飯館中学校の生徒が贈ったのれんが使われていました!

皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)
☎0244-42-1613

村役場のエントランスホールに飾り多くの方に観賞していただきました。



#折りびなの贈り物

今年も神奈川県在住の飯尾幸子さんから、美しい折りびなが届きました。復興への祈りと共に毎年送ってくださる折りびなです。手紙には「12年間折り続けてきましたが今回で一旦区切りをつけようと考えています。福島の皆様へ心を寄せてゆくことに変わりはありません。明日への希望を共に見続けたいと思います」と綴られていました。想いを受け取り感謝でいっぱいです。本当にありがとうございます。

ひとのうごき

誕生おめでとう



赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
山田 幸平 くん	豊さん あゆみさん	関根・松塚



HAPPY BIRTHDAY!

ひとのうごき 令和5年2月28日現在

人口	今月(前月比)	2月1日~28日までの人口動態
●男	2,397人(-10)	転入 4人
●女	2,384人(-11)	転出 17人
計	4,781人(-21)	出生 0人
世帯数	1,805戸(-1)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ



氏名	年齢	行政区
菅野 榮子さん	86	佐須
大内 初子さん	97	関沢
大渡 千代子さん	80	二枚橋・須萱
三本松 國藏さん	87	上飯樋
佐藤 ケサノさん	93	前田
西崎 ケサノさん	87	比曾



ご冥福をお祈り申し上げます

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

村民広報委員
ふじおさんの



いいたて 宝さがし 第9回



愛犬「しょう君」!

暖かな日差しのある春の日。庄司正良さん(関沢)を、避難前の実家に訪ねてみました。今に思えば12年ぶりに会う笑顔です。

避難前は三宝製作所を経て庄司製作所を立ち上げ、主にトラックの部品作りをしていたそうです。避難時に少し寂しく思ったことは、福島市に住んでいて、飼っていた愛犬を人に預けなければならないことだったそうです。

数年前、あの時預けた犬が岐阜県を経て京都府にいることを知り、友人と逢いに行ってきたということでした。どんなにか庄司さんも愛犬も嬉しかったことだろうと思いました。

現在は福島市で奥様と二人暮らし。「しょう君」という柴犬を飼っているとのこと。とても元気でワンパクそうな愛犬でした。飯館に来るときは時々一緒に連れてくるとも話してくれました。庄司さん夫婦にとっては「しょう君」が宝なんだろうと感じながら、春の日差しの中、心あたたまる思いでした。